

令和4年度広島市多文化共生意識調査結果の概要 図表

表1 外国人市民数の推移（住民基本台帳データ）

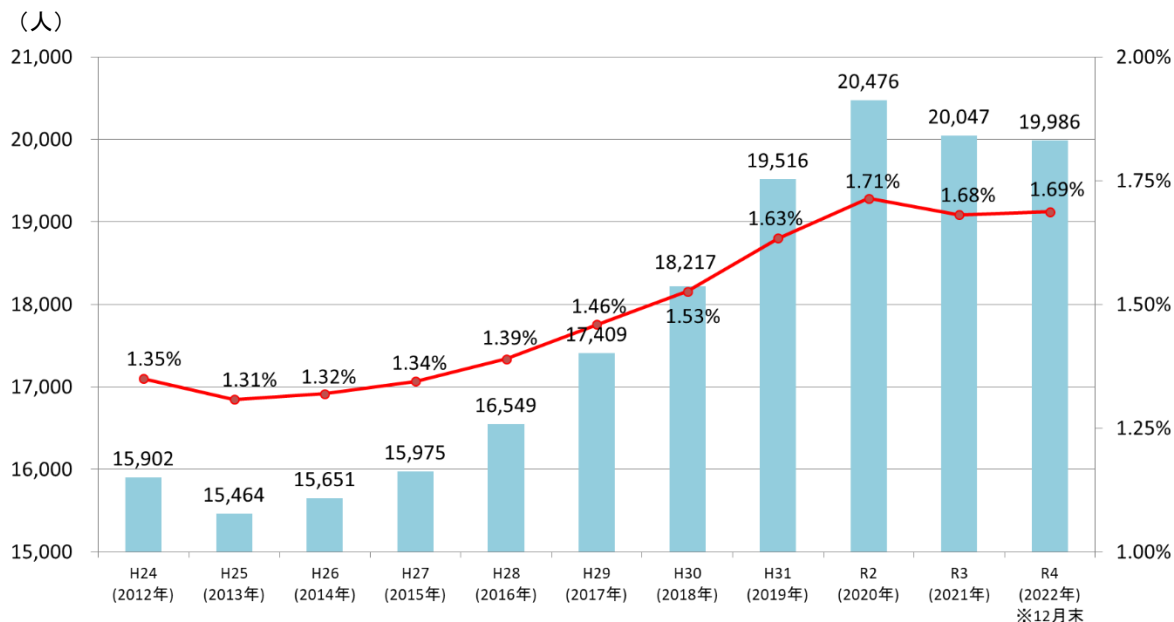


表2 アンケート回答者の国籍

	今回	2012年
	韓国・朝鮮 (25.4%)	韓国・朝鮮 (44.7%)
	中国 (22.5%)	中国 (30.7%)
	ベトナム (17.6%)	フィリピン (9.8%)
	フィリピン (12.2%)	ブラジル (3.3%)
	タイ (2.4%)	米国 (2.9%)
上位5か国計	80.0%	91.3%

表3 アンケート回答者の在留資格

今回	2012年
永住者 (35.9%)	特別永住者 (34.9%)
特別永住者 (15.1%)	永住者 (32.9%)
技能実習 (12.9%)	日本人の配偶者等 (9.4%)
日本人の配偶者等 (5.7%)	留学 (5.4%)
留学 (4.8%)	投資・経営等 (4.5%)

※ 2012年の前回調査では、技能実習は7番目で2.7%であった。

表4 日本での居住期間

	今回調査		2012年調査	
	日本	広島市	日本	広島市
～1年	5.1%	8.8%	2.0%	3.7%
1～3年	11.3%	15.6%	8.0%	10.4%
3～5年	13.2%	12.9%	7.4%	8.0%
5～10年	12.8%	11.1%	13.2%	14.8%
10～20年	15.9%	16.3%	19.4%	19.3%
20～30年	14.0%	12.1%	9.5%	9.7%
30年～	26.7%	22.2%	40.4%	34.1%

表5 定住意思

定住意思	今回	2012年
日本にずっと住む	57.2%	74.4%
母国に帰国する	6.3%	6.4%
日本や母国以外の国へ行く	0.8%	0.4%
日本を主な生活の場所にするが、母国と日本を行き来する	19.9%	11.4%
母国を主な生活の場所にするが、母国と日本を行き来する	2.9%	2.6%
わからない	11.7%	4.7%

表6 生活に関することの相談先（今回調査の上位3つと「市や県の相談窓口」）

選択肢	今回 (A)	2012 (B)	差 (A-B)
日本に住んでいる家族・親族	54.8%	70.0%	▲15.2
日本に住んでいる同じ国の友人・知人	45.3%	45.2%	0.1
日本人の友人・知人	35.0%	47.2%	▲12.2
市や県の相談窓口	13.5%	11.8%	1.7

表7 日本での生活情報の入手先（今回調査の上位3つと「県や市の広報紙」「県や市の相談窓口」）

選択肢	今回 (A)	2012 (B)	差 (A-B)
日本人の友人・知人	45.3%	54.9%	▲9.6
同じ国の友人・知人	37.1%	31.4%	5.7
ウェブサイト	36.5%	36.7%	▲0.2
県や市の広報紙	4.4%	5.8%	▲1.4
県や市の相談窓口	6.0%	4.3%	1.7

表8 市役所等で困ったことについて

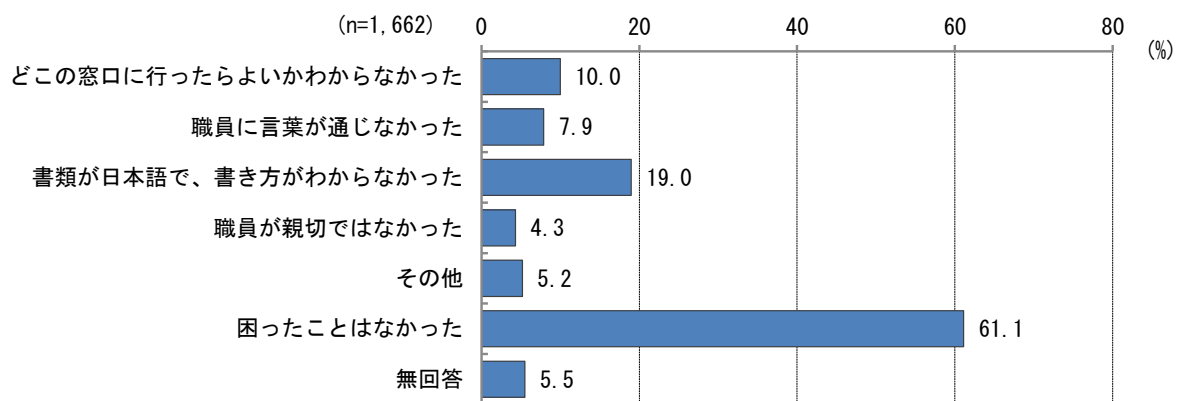


表9 日本語学習の方法

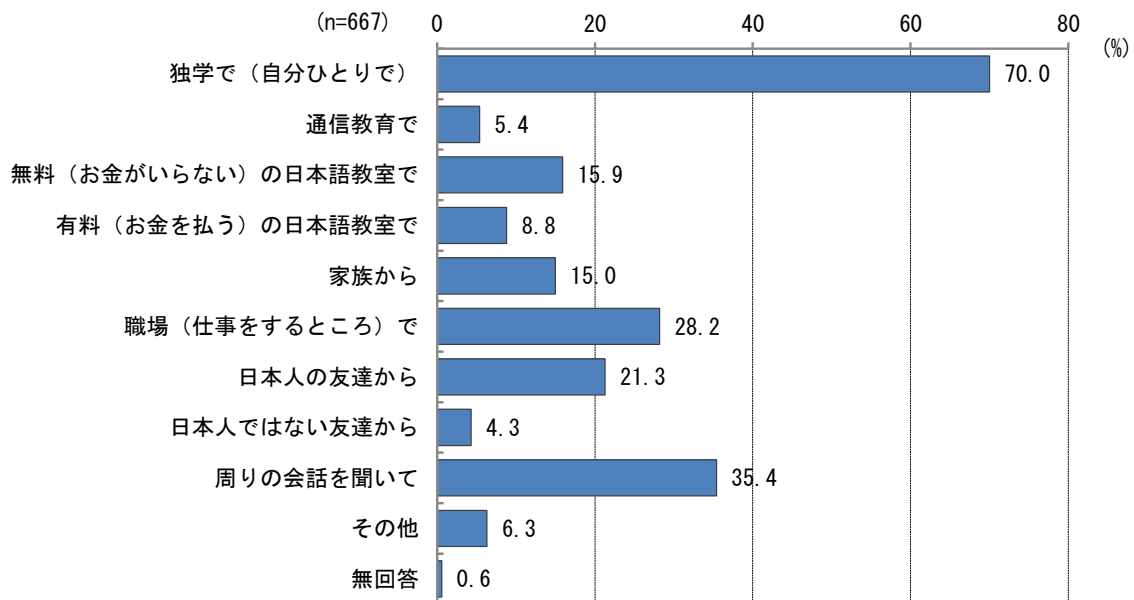


表10 日本語能力

「日本語を母語とする人と同じぐらい」

	今回	2012年
話す・聞く	32.9%	50.4%
読む	35.3%	53.0%
書く	38.1%	56.1%

表 11 地域の活動への参加状況

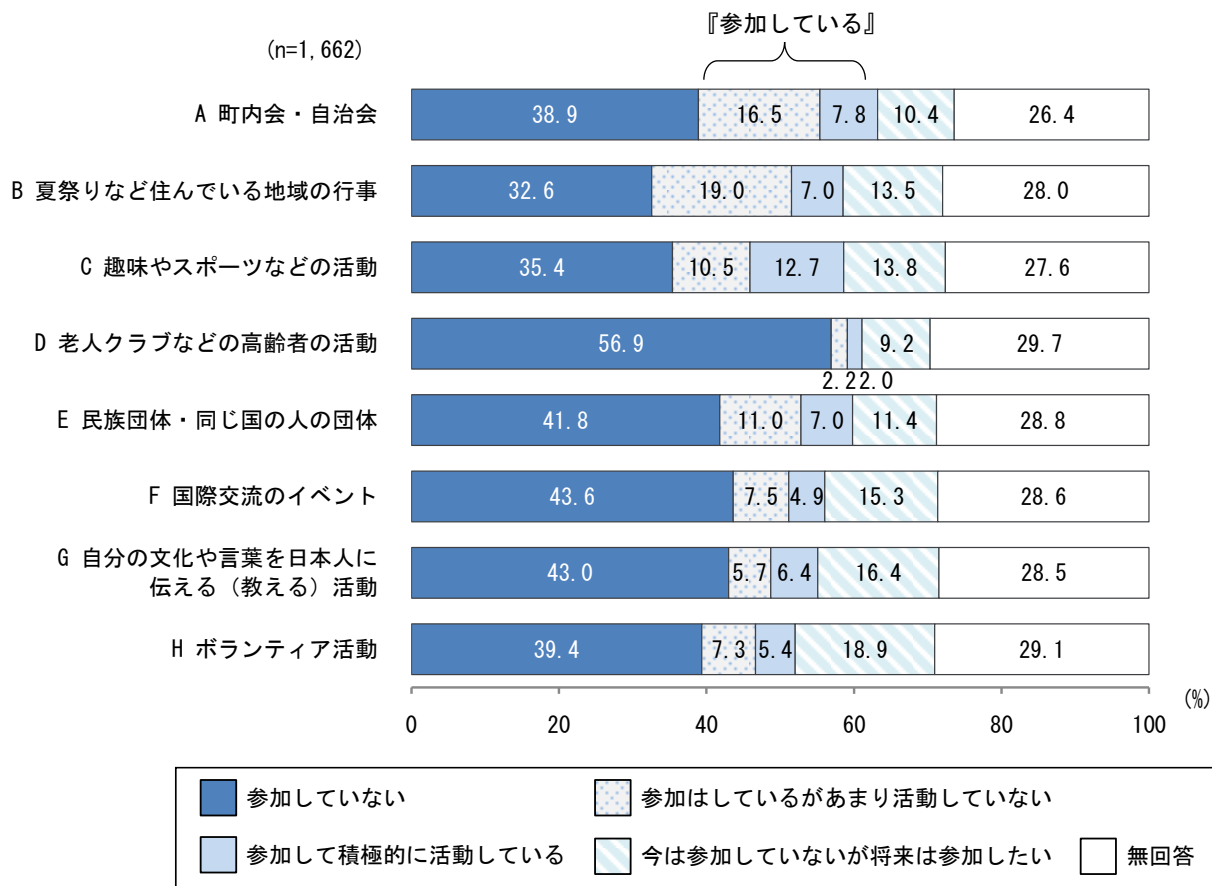


表 12 広島市の暮らしやすさ

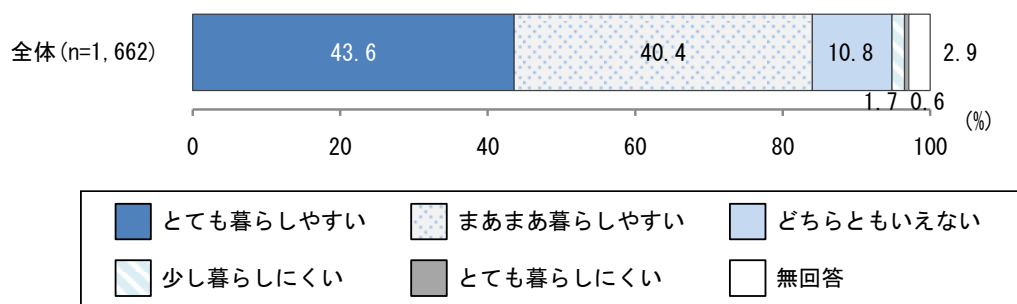


表 13 広島市での暮らしへの印象

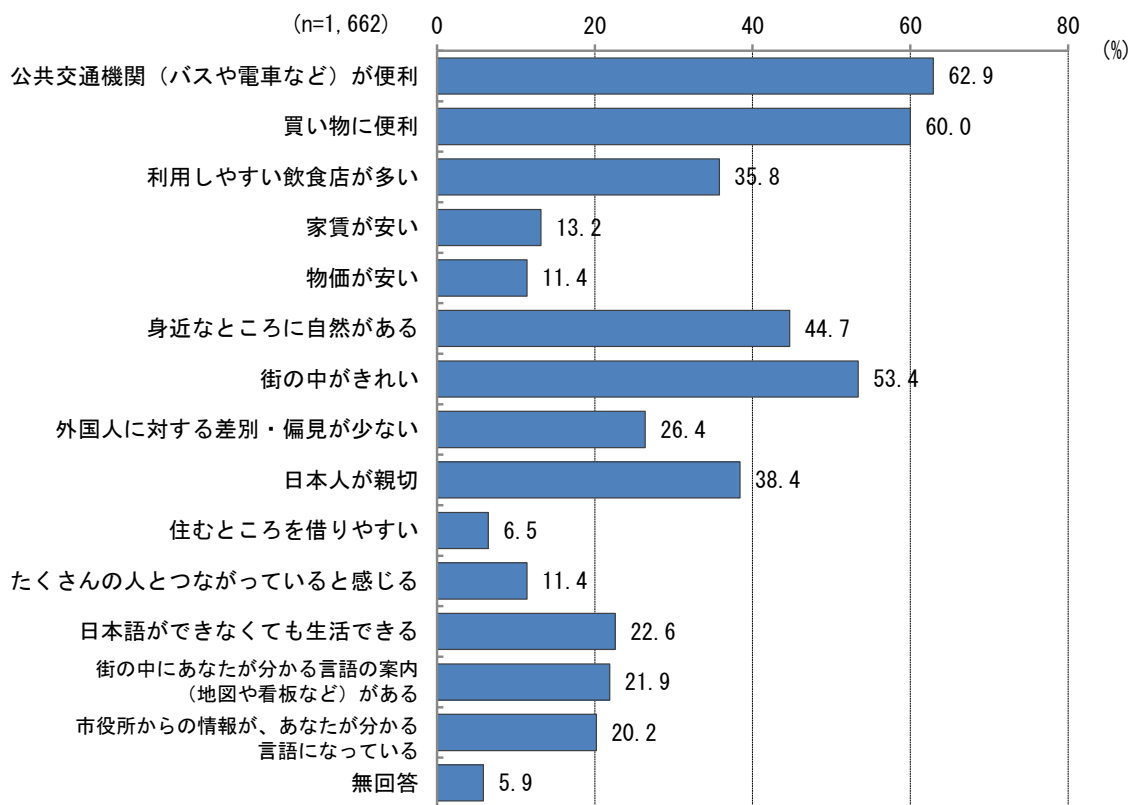


表 14 外国語の能力（日本人）

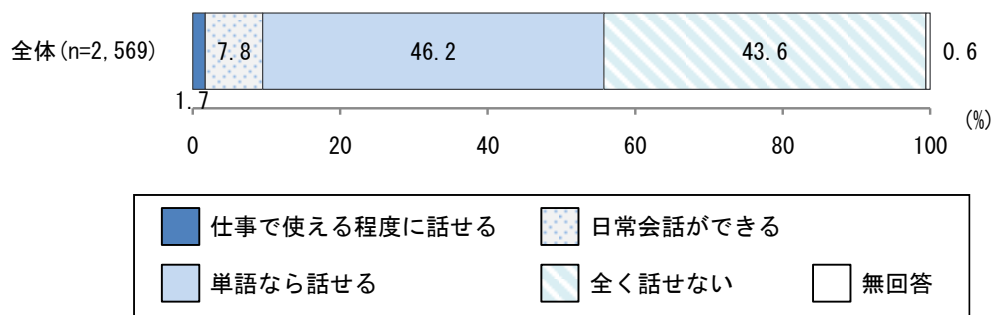


表 15 海外経験（日本人）

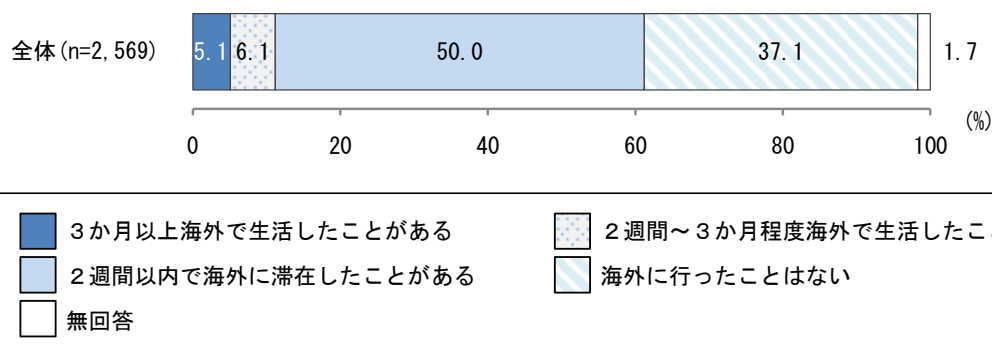


表 16 多文化共生の感覚

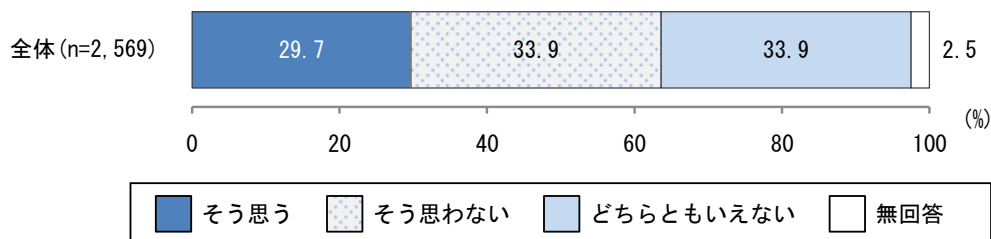


表 17 外国人が増えることによる影響

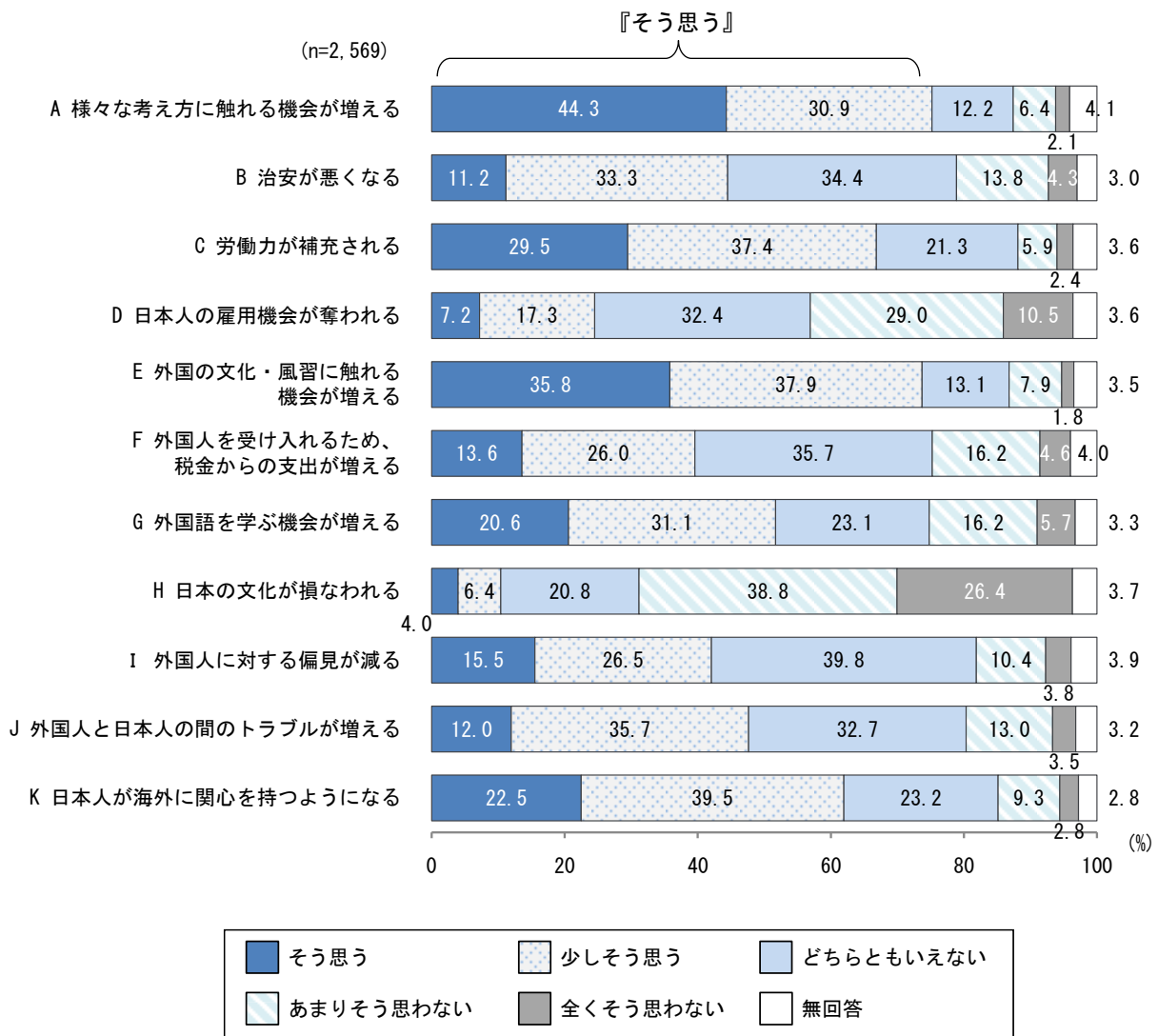


表 18 互いの付き合いについて

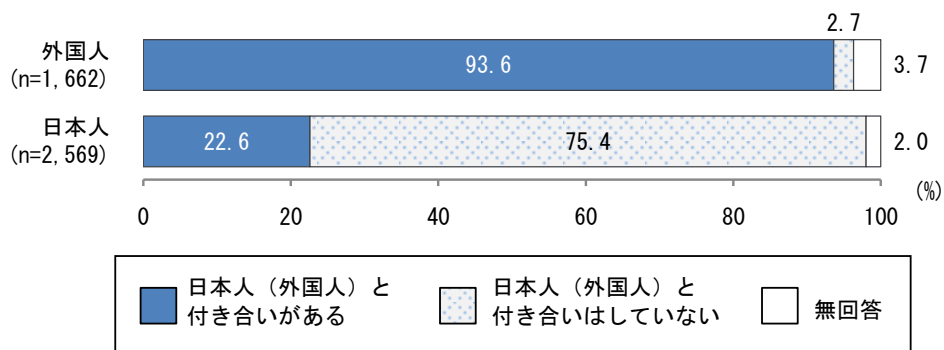


表 19 互いが付き合う上で難しいと思うことがあるか

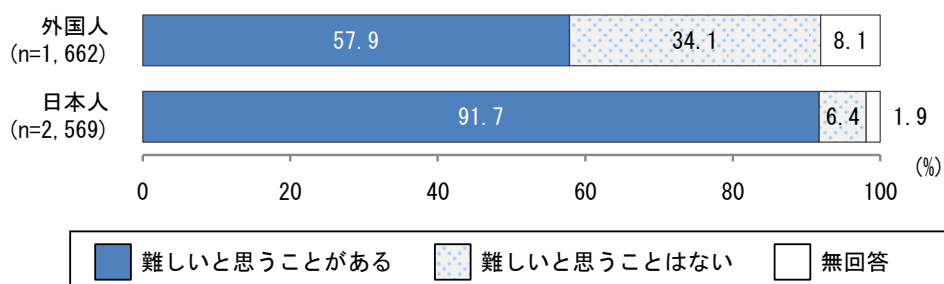


表 20 互いが付き合う上で難しいこと

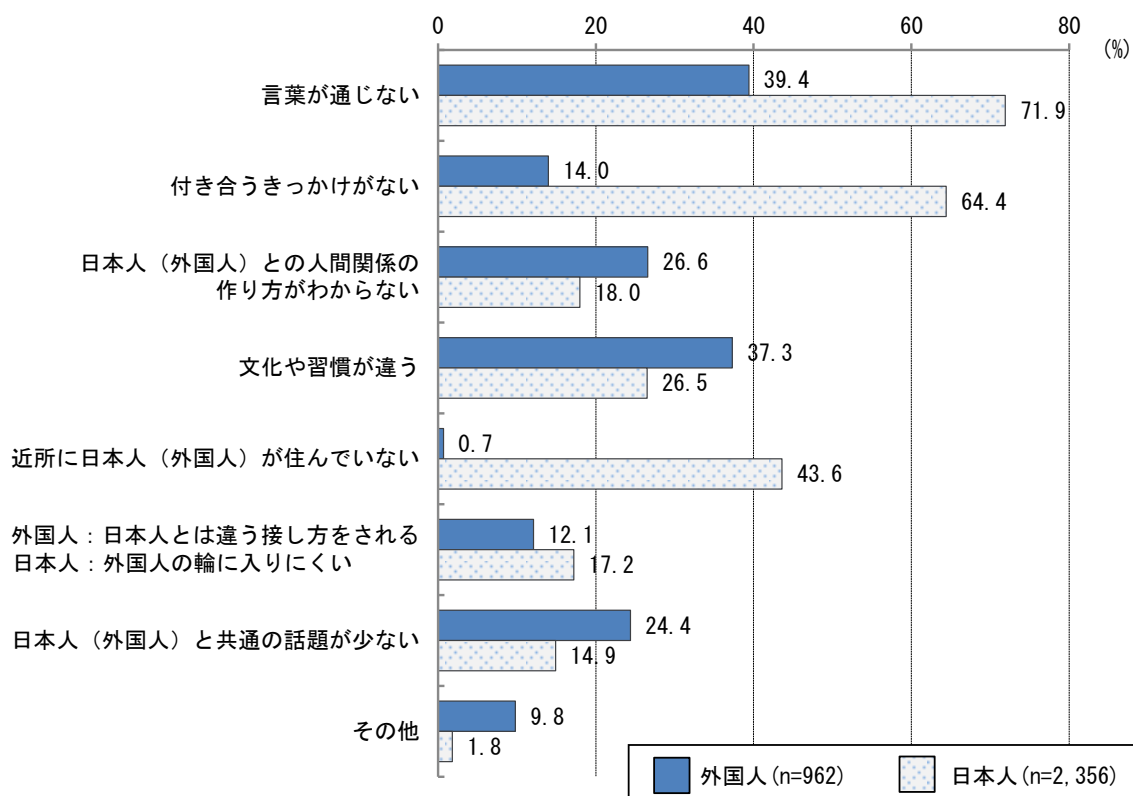


表 21 外国人と日本人の関わり方

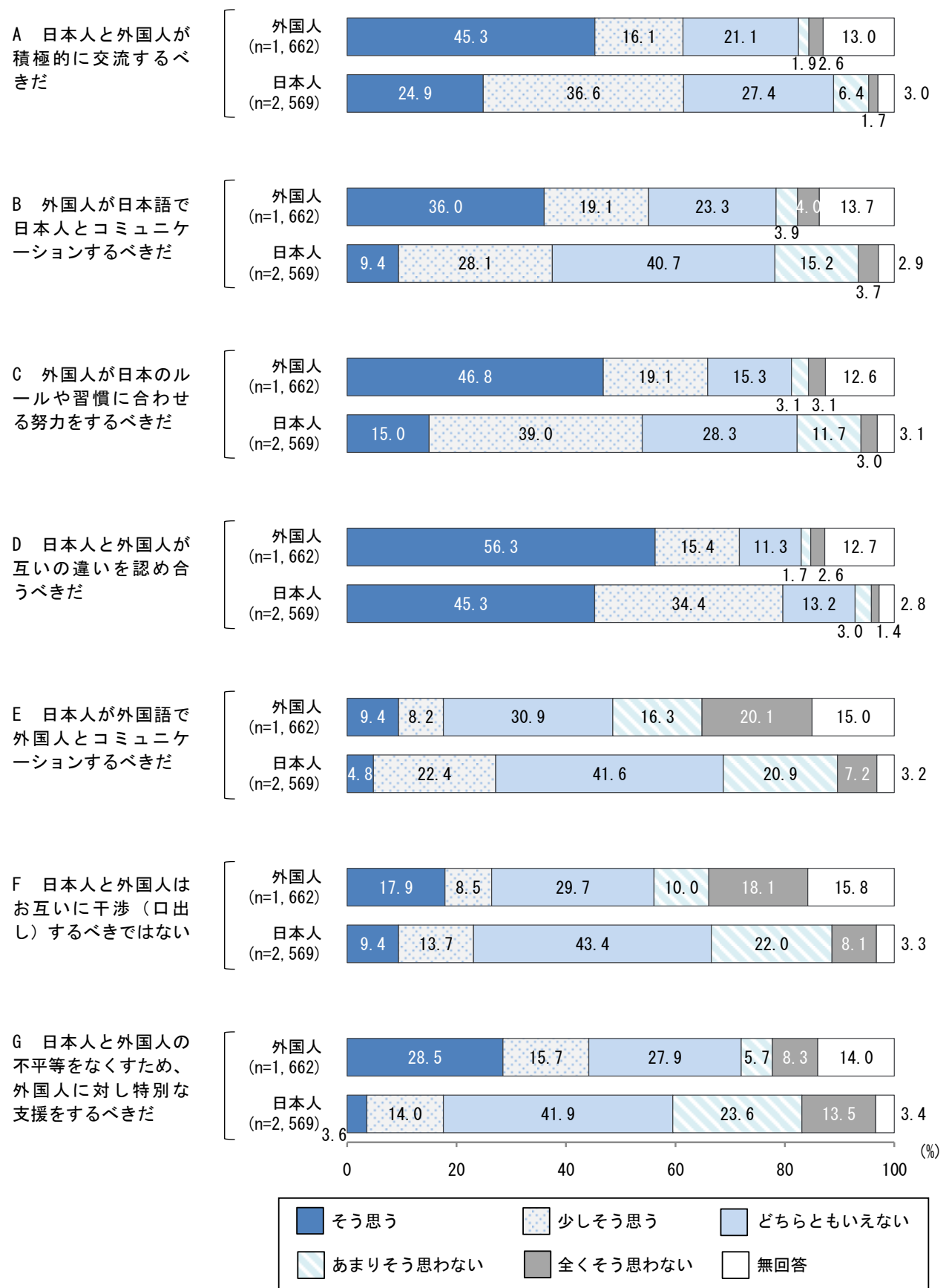


表 22 外国人に対する差別的な扱い

